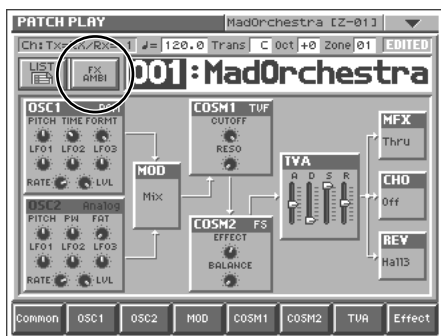


V-Synth の追加機能について

PATCH PLAY 画面変更

📖 参照：取扱説明書 P.21

PATCH PLAY 画面にカテゴリ表示（ボタン）が追加されました。



パッチ・カテゴリ検索機能追加

📖 参照：取扱説明書 P.22

カテゴリ別にパッチを選ぶ

V-Synth には、パッチの種類（カテゴリ）を指定することで、使いたいパッチをすばやく選び出せるパッチ検索機能があります。カテゴリは全部で 16 個あります。

1. PATCH PLAY 画面を表示します。
2. 画面左上にあるカテゴリ・ボタンにタッチします。
PATCH List ウィンドウが表示され、画面両側にカテゴリが表示されます。



ページ移動ボタン

3. 目的のカテゴリにタッチして、一覧表示の中からパッチを選びます。
画面下側のページ移動ボタンにタッチすることにより、同一カテゴリ内でページを移動することができます。

カテゴリ		内容
SYNTH	Synth	シンセ
LEAD	Lead	リード
PAD/STRING	Pad/Strings	パッド／ストリングス
VOX/CHOIR	Vox/Choir	声／クワイア
PIANO/KBD	Piano/Keyboards	ピアノ／鍵盤楽器
BASS/GUITAR	Bass/Guitar	ベース／ギター
WINDS	Winds	管楽器
BELL/MALLET	Bell/Mallet/Hit	ベル／マレット／ヒット
MELO SEQ	Melodic Sequence	メロディック（ピッチ感がある）シーケンス
RHY SEQ	Rhythmic Sequence	リズムック（ピッチ感がない）シーケンス
ARPEG	Arpeggio	アルペジオ
FX/AMBI	FX/Noise/Ambient	エフェクト／ノイズ／アンビエント
ETHNIC	Ethnic	エスニック
DRUM/PERC	Drum/Percussion	ドラム／パーカッション
COMBI/OTHERS	Combination/Others	ZONE を使用したコンビネーション／その他
NO ASSIGN	No Assign	カテゴリに分類していないもの

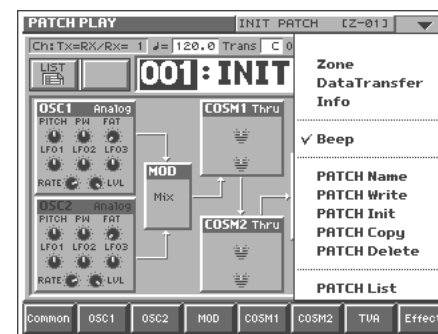
パッチにカテゴリを付ける

パッチにカテゴリを付けると、PATCH List ウィンドウでカテゴリ別にパッチを選ぶことができます。

メモ

カテゴリが設定されていないパッチは、カテゴリ名が「No Assign」になります。

1. カテゴリを付けたいパッチが選ばれていることを確認します。
2. 画面右上の<▼>にタッチします。
プルダウン・メニューが表示されます。



3. プルダウン・メニューの< PATCH Name >にタッチします。
PATCH Name ウィンドウが表示されます。



4. 画面下側にある< Category >にタッチします。



V-Synth の追加機能について

5. 一覧の中から、カテゴリを選びます。
6. < OK >にタッチしてカテゴリを確定します。

メモ

Patch Write ウィンドウ内の< Category >にタッチして、カテゴリを付けることもできます。



アナログ・オシレーター・ウェーブフォーム追加

🔍 参照：取扱説明書 P.42

Waveform（アナログ・オシレーター・ウェーブフォーム）

アナログ・オシレーター使用時の音の基本となるウェーブが追加されました。

Waveform	Pulse Width (P.44)	Fat/Detune (P.44)
SAW：鋸歯状波	○	○
SQR：矩形波	○	○
TRI：三角波	○	○
SINE：正弦波	○	○
RAMP：傾斜波	○	○
JUNO：変調鋸歯状波	○	○
HQ-SAW：高品質鋸歯状波	×	×
HQ-SQR：高品質矩形波	○	×
NOISE：ノイズ波	○	×
LA-SAW：LA 鋸歯状波	○	○
LA-SQR：LA 矩形波	○	○

■：追加ウェーブ ○：有効 ×：無効



サブ・オシレーター使用時は、Fat パラメーターが Detune パラメーターに切り替わります。



「LA-SAW」、「LA-SQR」は、Roland D-50 に搭載された LA（Linear Arithmetic）方式の音源で使われた波形をシミュレートしています。通常の「SAW」、「SQR」に比べ、マイルドな音色が得られます。

アナログ・サブ・オシレーター機能追加

🔍 参照：取扱説明書 P.42, 44

以下のパラメーターが追加されました。

サブ・オシレーターを使用すると、音を重ねてふ厚い音を作ることができます。また、Detune パラメーターを設定することでデチューン効果がかかります。



わずかに音のピッチ（音の高さ）が異なる音を重ねる効果をデチューン効果といいます。サブ・オシレーターを使用したとき、Detune の値を「0」以外に設定するとデチューン効果がかかります。

Octave Select（サブ・オシレーター・オクターブ・セレクト）

サブ・オシレーターを使用するとき、基準音から何オクターブ下で重ねるかを設定します。

設定値

- OFF：サブ・オシレーターを使用しません。
- 2：サブ・オシレーターを基準音の 2 オクターブ下で重ねます。
- 1：サブ・オシレーターを基準音の 1 オクターブ下で重ねます。
- 0：サブ・オシレーターを基準音と同じピッチで重ねます。



サブ・オシレーターを使用するとき（設定値：-2, -1, 0）は、Fat パラメーターは無効になります。

Sub Level（サブ・オシレーター・レベル）

サブ・オシレーターの音量を設定します。

設定値：0 ～ 127

Fat/Detune（ANALOG）



Fat（ファット）

音の低域を強調します。サブ・オシレーター・オクターブ・セレクトが「OFF」の設定の場合に有効です。

設定値：0 ～ 127



Detune（デチューン）

サブ・オシレーターのデチューン（音程差）を設定します。サブ・オシレーター・オクターブ・セレクトが「-2, -1, 0」のいずれかの設定の場合に有効です。

設定値：-63 ～ +63

Detune KF（デチューン・キー・フォロー）

弾くキーによって、デチューンの値を変化させる度合いを設定します。

設定値：-200 ～ +200

Detune LFO Depth（デチューン・LFO・デプス）

LFO をデチューンにかけるととき、そのかかり具合を設定します。

設定値：-63 ～ +63



この設定画面では、デチューンに対するエンベロープを設定することができます。エンベロープの設定については、「エンベロープの設定のしかた」（P.48）をご覧ください。

COSM タイプ追加

🔍 参照：取扱説明書 P.46, 111

COSM タイプ「TB FILTER」が追加されました。



COSM Type（COSM タイプ）

16 種類の中から使用する COSM を選びます。各 COSM について詳しくは、「COSM パラメーター」（取扱説明書 P.111）をご覧ください。

設定値：THRU, OD/DS, W-SHAPE, AMP, SPEAKER, RESONATOR, SBF 1/2, COMB, DUAL, TVF, DYN-TVF, COMP, LIMITER, F-SHIFT, LO-FI, **TB FILTER**



TB Filter (TB フィルター)

Roland TB-303 の回路をシミュレートしたフィルターです。Reso Follow を「0」以外の値に設定することにより、ローパス・フィルターのカットオフ周波数に応じてレゾナンス効果が変化します。

パラメーター	設定値	説明
COSM Type		
Gain	0 ～ 127	出力音量
LPF		
Freq # 1	0 ～ 127	ローパス・フィルターの カットオフ周波数
Freq KF	-200 ～ +200	ローパス・フィルターの カットオフ周波数に対する キー・フォロー設定
Freq LFO Depth	-63 ～ +63	ローパス・フィルターの カットオフ周波数に対する LFO のかかり具合
Reso # 2	0 ～ 127	ローパス・フィルターの レゾナンス
Reso Follow	-63 ～ +63	ローパス・フィルターの カットオフ周波数に応じた レゾナンスのかかり具合
HPF		
Freq	0 ～ 127	ハイパス・フィルターの カットオフ周波数
Freq KF	-200 ～ +200	ハイパス・フィルターの カットオフ周波数に対する キー・フォロー設定
Freq LFO Depth	-63 ～ +63	ハイパス・フィルターの カットオフ周波数に対する LFO のかかり具合
※ エンベロープの設定については、「 エンベロープの設定のしかた 」(P.48)をご覧ください。		



「# 1」、「# 2」のパラメーターは、パネルの COSM1/ COSM2 の [P1]、[P2] つまみ、およびマトリックス・コントロールの Destination パラメーターの「CSM1/2-PRM1」、「CSM1/2-PRM2」でコントロールすることができます。

クリーン・プロジェクト・ オプション機能追加



参照：取扱説明書 P.85

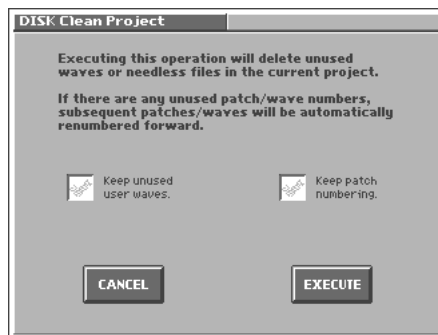
不要なファイルを消去する (Clean Project)

V-Synth で扱えないファイルを消去したり、パッチで使用していないウェーブを削除して、ディスク内を整理します。この機能を実行すると、ディスクの空き容量を増やすことができます。また、空いているパッチ/ウェーブ・ナンバーを詰めることができます。



カレント・プロジェクトがインターナルにある場合は、インターナル・メモリー内すべてを整理します。また、カレント・プロジェクトが PC カードにある場合は、カレント・プロジェクトの中だけを整理します。

1. DISK UTILITY MENU 画面を表示します。
2. < Clean Project > にタッチします。
DISK Clean Project 画面が表示されます。



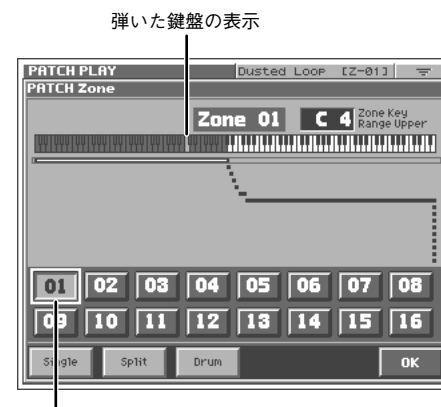
3. チェック・ボックスにタッチしてクリーン・プロジェクトの動作を選択します。
Keep unused user waves. :
サンプリングしたり、外部からインポートしたりしたウェーブ（ユーザー・ウェーブ）を、すべて残しておきたい場合にチェック・マークを付けます。
Keep patch numbering. :
空いているパッチ・ナンバーがある場合、そのナンバーを詰めたくないときにチェック・マークを付けます。
4. < EXECUTE > にタッチして実行します。

PATCH Zone ウィンドウ変更



参照：取扱説明書 P.52

次の表示機能が追加されました。



弾いた鍵盤に対応したゾーンの表示

「主な仕様」記載内容の変更



参照：取扱説明書 P.172

● COSM

15 + THRU → 16 + THRU

● インターナル・メモリー

ウェーブ・メモリー量 (RAM) : 約 50M バイト

(工場出荷時は内約 30M バイトをプリセット・ウェーブで使用)



(工場出荷時は内約 32M バイト をプリセット・ウェーブで使用)